

平成 18 年 5 月 23 日 記者会見 質疑応答（埼玉）

発表内容：埼玉りそな銀行の平成 17 年度決算および平成 18 年度業績予想の概要について

日 時：平成 18 年 5 月 23 日（火）16 時 30 分～17 時 00 分

場 所：埼玉県政記者クラブ

発表者：利根社長、渡辺常務、野口りそな H D 執行役

【質疑応答】

Q . 2003 年発足からの 3 年間を総括してほしい。

A . まずは、埼玉県を営業エリアとする、新しいビジネスモデルの地域金融機関としてどうあるべきなのか、というところからスタートしました。そして「埼玉県の皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行」を目指し、失った信頼を如何に取り戻すかということを最優先に取り組んできました。何か特別なことをやったわけではありません。本来、地域金融機関としてとるべき施策でこれまでやってこなかったことに焦点を当てて強化してきました。具体的には、地元の皆さま方への積極的かつ安定的な資金供給、健全で収益力の高い財務基盤の構築、いつも真っ先に相談してみたいと思われるような商品・サービスや地域とのリレーションを備えること、地域経済活性化への積極的な取組み、文化・教育・環境等に係る地域貢献への取組み、この 5 つを、当社が実践すべき戦略、施策の基本となる考え方として取り組んでまいりました。これらの積み上げが結果として、年間 100 億円を上回る実勢業務純益の増加に結び付いてきたと思っています。

Q . 今期の業績予想で収益の伸びが若干鈍化している理由は？

A . 主要ビジネスである貸出金の増強や投資商品販売の推進等については、これまでの拡大基調が続く見通しですが、前向きな経費増や、主要ビジネス以外の部分で若干減少する部分があるということです。

Q . 貯蓄から投資への流れが加速している中で、個人預金が 1 千億円超増加している理由は？

A . 確かに投資商品へのシフトという動向がみられますが、その他に銀行間や郵貯の資金の動きもあるでしょうし、また、3 年前に当社から離れられたお客さまが戻ってこられているといった、いろいろな要因があるかと思えます。

Q . 今期の経費増というのは一時的な要因か？

A . この 3 年間はコストダウンを先行させてきました。また、システム統合が昨年までかかり、IC カード対応等遅れていた部分があります。こういった部分に前向きな投資をしていくものですから恒常的な経費ではありません。前向きな投資のできる体力がついてきたということです。

Q . 今回の役員異動で、埼玉りそな銀行の小嶋取締役が、りそなホールディングス執行役内部監査部長に異動するが、これは、りそなグループ一体運営強化の一つの表われか？

A . そうです。

Q . 本日、りそなホールディングスが、取得価額の総額 2,500 億円を上限に自己株式取得枠設定について公表しているが、これは公的資金返済に向けた動きの中でどのような位置付けになるのか？

A . 従来から申し上げておりますが、早期健全化法に基づく公的資金による優先株式につきましては、基本的に剰余金の積み上げによる買い入れ消却を想定していません。平成 17 年度において既に健全化計画を約 3,000 億円上回る 7,500 億円強の剰余金の積み上げを達成しております。今後、こういったものを活用して公的資金による優先株式の買い入れ消却を実施していく為に、今回、自己株式の取得枠を設定させていただくというものです。

Q . こういった自己株式取得枠は、今後、複数年にわたって設定していくのか？

A . その時の状況に応じて設定させて頂くということです。

Q . ICカード対応に係る費用はどれくらい見込んでいるのか。

A . ICカード対応に係る今年度の費用見込は、システム関連経費を含めた全体では約 5 億円の予定です。

Q . りそなグループ内で（りそな銀行と奈良銀行の）合併や（りそな銀行で）地域運営の見直しといった動きがあるが、埼玉りそな銀行について何が動きはでてくるのか？

A . グループの方針といたしましては、現在の健全化計画でお示ししている通り、全体の連結経営を行う為に、りそな信託銀行を 100%完全子会社化し、現状はその方針に従って運営しているということです。

Q . 実勢業務純益について健全化計画を 2 年前倒しで達成しているが、計画を新たに策定するのか？

A . グループとして今秋に健全化計画を見直すことになっていきますので、その時に見直すこととなります。従来の健全化計画と比べると数字は大きくなるかと思いますが、これまでも単年度毎に每期見直しをしてきています。

Q . 決算とは直接関係ないが、先日、埼玉県の上田知事が今回の人事について「埼玉がバカにされている」という発言をされたが、どう思うか？

A . どういうご趣旨かは何とも申し上げることができません。正式な就任は 6 月で、知事へのご挨拶もこれからです。新社長による記者会見も予定しております。

Q . 埼玉りそな銀行は埼玉県に集約することで業績を伸ばしてきた。全国的に見ると県境を越えた銀行合併等が相次いでいるが、今後、埼玉でも県境を越えた銀行合併というのは有り得るか、また、県境を越えた銀行合併というのは有効か？

A . 置かれた地域の状況によるかと思えます。成長性の高い首都圏にある銀行が、他

県を巻き込んでというのは、なかなかないと思いますが、地域の状況によっては、如何に業績を伸ばしていくかを考える中で、県境を越えてというのもあるかもしれません。当社の場合、周辺地域はグループのりそな銀行の営業エリアになっています。当社の役割は埼玉県内の中で如何に企業価値を高めていくかということにあります。

以上